



東京むかでワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-MUKADÉ “CENTIPEDE”

Office : Tokyo YMCA Toyocho Center
2-2-20 Toyo, Koto-ku, Tokyo, Japan

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20
東京YMCA東陽町センター内
TEL 03-3615-5565

2023年7月 ~ 2024年6月

国際会長主題 「輝かそう、あなたの光を」

アジア会長主題 「変革のための光となろう」

東日本区理事主題 「未来のために今、学びと気づきを！

未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」

東新部部长主題 「ALL 東新部、継続・発展！」

書記 長谷川正雄

会計 福島和州太郎

担当主事 本多 良章

会長 神保伊和雄
副会長 城井 廣邦
直前会長 今井 武彦

2024年5月本例会 (747回)

(強調月間 : Leadership D. / Youth Eng.)

今月の聖句

あなたがたは地の塩である。
(マタイによる福音書 5:13)
You are like salt for the whole human race.
(Matthew 5:13)

第27回 東日本区大会に 参加しよう！！

日時 : 5月31日(金)~6月1日(土)

場所 : とかちプラザ

5月本例会

日時 2024年5月21日(火) 18:00~20:00

場所 東京YMCA東陽町センター

会費 ビジター 1,500円、メンバー 1,500円

※ご欠席の方は 5/14 までに福島迄ご連絡ください

5月強調月間 Leadership D. Youth Eng

Leadership Development : リーダーシップの開発。

ワイズメンズクラブでは、東日本区、東新部、クラブ、それぞれで研修会をもって、リーダーシップの向上を図っています。むかででは「下田会議」がこれにあたります。

Youth Engagement : ユースとの交流と入会の勧め。

ワイズメンは、YMCAのユースやリーダーたちと親しく交流を持ち続けることによって、ユースの信頼を得て、入会行動につなげていきたいものです。(伊丹 記)

5月本例会プログラム

受付・司会 今井 武彦

開会点鐘 会長 神保伊和雄

ワイズソング 一同

ゲスト・ビジター紹介 司会

今月の聖句・感謝 今井 武彦

楽しい食事

卓話 「シェイクスピアは三度がお好き?!」

古庄 信 学習院女子大学 教授

強調月間アピール 伊丹 一之

ハッピーバースデー・結婚記念日 司会

スマイル 今井 武彦

諸報告

閉会挨拶 長谷川正雄

閉会点鐘 会長 神保伊和雄

HAPPY BIRTHDAY

16日 城井廣邦 19日 堀口栄子

結婚記念日おめでとう

14日 城井廣邦・姚子 18日 伊丹一之・節子

2024年4月の記録

会 員 出 席 状 況		メーキャップ記録		スマイル	20,600円
正会員	8名	出席(メネット)	0名	BFポイント	現金累計 円
功労会員	1名	出席(コメント)	0名		切手累計
在籍者数	9名	出席(ゲスト)	1名		
出席(正会員)	7名	出席(ビジター)	0名	リングブル	累計 86.0kg
出席(功労会員)	0名	例会出席総数	8名	むかで基金	今月分 20,600円
			4月出席率 88%		

みずほ銀行 亀戸支店 (普通) 3013071 東京むかでワイズメンズクラブ

会費振込先

4 月 本 例 会 報 告

4月本例会は、東陽町センターホールにて対面で開催しました。東京YMCAによる能登半島地震にかかる災害ボランティアについて、東京YMCA会員部の熊沢佳代さんと当クラブ担当主事の本多良章君よりご説明いただきました。なお、熊沢さんは当クラブ会員でもある堀口廣司ワイズの担任クラスで元教え子であるそうです。

東京YMCAでは、輪島市町野町(わじましまちのまち)にある避難所になっている小中学校である町野小学校と東陽中学校にて、災害ボランティア活動を展開してきています。1月24日(水)に開始し、その後3月31日(日)まで、実に68日間・延べ31人に及ぶ継続的な支援をさせていただきました。熊沢さんは2回に分けて、トータルで13日間のボランティア支援をされてきたとのこと。3月31日(日)の東京YMCA撤収以降は、富山YMCAへ引継ぎ、いまでも継続的な支援をされています。YMCAの献身的な活動に心から感謝します。【写真下=卓話をする熊沢さん】



現地では、お掃除や支援物資の仕分けなどの日常業務をこなしながら、被災者の皆さんと心の通うコミュニケーションを取ることを実践されてきました。言葉を失うような地震の爪痕がわかる悲惨な写真や、一方で、たくさんの素晴らしい写真も共有くださり、被災者の笑顔の写真、おじいさんから漆器を頂いたストーリーなども共有いただきました。

本例会ではさらに、5月1日～4日にかけて、DBC 3クラブ(神戸ポート、石巻広域、東京むかで)で輪島市の東陽中学校に災害ボランティアに行くことが決まったと、神保会長からご報告いただきました。これも、YMCAの活躍が認められ、ワイズメンもボランティアに行く機会を得られたものと思います。YMCAの献身的な活躍ぶりに、改めて敬意と感謝を申し上げます。

むかでクラブからは、神保伊和雄会長と福島和州太郎が、能登の災害ボランティアに行っておりましたので、簡単な報告を含め、編集後記へと続きます。(福島 記)

出席者: 神保、長谷川、福島、今井、伊丹、堀口、本多
ゲスト: 熊沢 (敬称略)

4 月 会 長 会 報 告

2024年4月10日(水)19時よりグーグルミート・オンラインで、11名が参加して東新部会長会が開かれました。

主な協議事項は以下の通り。

1. 第3回東新部評議会までのスケジュールを確認
4/10 資料原稿締め切り。4/13-14 東日本区役員会、今井部長出席、議事録をワークブックに掲載。4/15 東新部役員会(オンライン)。4/19 資料印刷(四谷事務所)。4/20 評議会当日12時より会場設営。
2. W4Wの実施
Week for Wast(ゴミの週間)は、4月20日(土)評議会の午前中に東京多摩スマイルクラブが実施。また、23日(火)には、東京・東京むかでクラブが行う予定。
3. 東京世田谷クラブの解散について申請書が出されたので、部評議会での議決、区役員会での承認を経て6月末解散となる行程が確認された。
4. 東京多摩スマイルクラブでは、第7期「プランター野菜講座」を5月14日から5回にわたり開催。受講者は他部、ワイズ外の人へと広がりを見せている。
むかでの出席者: 今井、伊丹、長谷川 (伊丹 記)

第3回東新部評議会/次期クラブ役員研修会

第3回東新部評議会・次期役員研修会は4月20日(土)13:30から東陽町センター1階ホールで行われました。

出席者は東京(5名)、むかで(4)、世田谷(1 Zoom)、町田コスモス(2)、センチニアル(2)、多摩スマイル(6)で定足数確認、成立。配布されたプログラムに従い、伊丹東新部書記の司会で進行しました。

議案審議事項では前評議会議事録、次年度の部長方針・次年度予算案が承認。更に世田谷クラブ解散について、小原君がZoomを通し、経緯、現在の結論を語られました。

次期部監事は長澤弘君(東京)、次期部ウェブマスターは江口耕一郎君(東京)、更に提示された次期部役員、各クラブ役員が承認されました。

報告事項では本年度の部臨時評議会、区・部の役員会報告、本年度3月末時点での会計報告がありました。

恒例の各事業、各クラブ、YMCA報告(本多担当主事)と続き、評議会を閉じました。

休憩を挿み、次期クラブ役員研修会が伊藤幾夫君(LT委員長、次期部書記)の進行で進められました。

次期部カレンダーの説明、更に部大会について渡邊実帆部大会実行委員長(世田谷)のもと、同会第2部では「エンディングノートを書こう」をテーマに検討中など報告がありました。更に次期主査、委員長、専任委員から次期の活動方針が報告、事務会計手続きについての説明で、研修会が終了しました。

松香光夫監事から講評の後、東新部の歌、部長による閉会点鐘で本会を閉じました。

(長谷川 記)

むかで出席者:今井、伊丹、本多、長谷川

会 長 通 信

イースター礼拝を3月末に迎え、花の季節も都内ではすでに盛りを過ぎ、新緑の季節を迎えております。

元日の能登半島地震から、もはや4か月も経ち、復興の槌音はいまだに遅々として現地から聞こえてこない状況です。東京YMCAも1月24日から避難所運営支援を行ってきました。我がクラブの本多良章担当主事は業務として派遣され、4月の例会に於いて現地の状況などを、スタッフの熊沢佳代姉と報告されました。3月末で東京Yから富山Yへバトンタッチ！

神戸YMCAから、神戸ポート・石巻広域・東京むかででのDBC 3クラブで応援をとの声が掛かり、5月1日～4日まで、総勢10名ほどで避難所支援活動に参加することになりました。1日でも早い日常生活が取り戻せるよう！一助になればと思っています。

被災地へ支援・応援に力をもっと出しても良いのに！次から次へと、悩みが尽きないですね。

花蓮地区・パレスチナ・ガザ・ウクライナ情勢、ゆっくりお花見でもなんて暇はないのかな！

(神保 記)

< 5月の予定 >

- 7日(火) 東京多摩スマイル・5月本例会
 - 13日(月) 東京町田コスモス・5月本例会
 - 14日(火) 東京・5月本例会
 - 17日(金) 東京世田谷・5月本例会
 - 21日(火) 東京むかで・5月本例会
 - 28日(火) 東京むかで・第二例会 Zoom(18:00～)
- 東京センテナリアルYサービスクラブ・例会日未定

< 6月以降の予定 >

- 18日(火) 東京むかで・5月本例会
- 25日(火) 東京むかで下田会議・(第二例会)

卓 話 者 の プ ロ フ ィ ー ル

古庄 信 (ふるしょう まこと) さんのご紹介

- 学習院大学文学部大学院博士課程満期退学(1985)
- 九州ルーテル学院大学講師(1985)
- 学習院女子短期大学助教授(1990)
- 学習院女子大学助教授
- 学習院女子大学教授(現在)
- 英国サセックス大学リサーチ・フェロー(1993-94)
- 所属教会:日本キリスト教団 目白教会(新宿区)

4 月 第 二 例 会 報 告

4月第二例会は、23日(火)午後6時よりZoom方式で

開催、主な協議、確認事項は以下の通りです

1. ブリテン5月号の発行

- ・5月号編集担当者 福島和州太郎
- ・主な原稿(固定原稿以外)
 - 「4月会長会報告」 伊丹一之
 - 「第3回東新部評議会、他報告」 長谷川正雄
- ・固定原稿(編集担当者の執筆範囲)
 - 1頁(表紙)のまとめ、4月本例会報告、第二例会報告(代 長谷川)、編集後記
- ・原稿締め切りは5月3日(金)、印刷会は5月21日(火)16:30より東陽町で行う。

2. 5月本例会について検討、卓話者予定など

- ・予定卓話者 古庄 信氏(学習院女子大学教授)
 - 「シェイクスピアは三度がお好き?!」
 - ・5月10日はクラブ チャーター 63周年。細やかに祝杯を挙げる。
- #### 3. その他の協議、検討、報告事項
- ・トライアングル3クラブによる「能登半島地震現地支援」に、クラブより神保会長、福島君が参加する。
 - 神保会長:5月1日～4日まで輪島市避難所で活動。
 - 福島君:上記期間中の数日間、活動参加予定。
 - ・4月23日(火)13:00～14:30 W4W(ゴミのための週間)部主催で東京、むかで、YMCA事務局と合同で、東陽町センター界隈の清掃を実施した。
 - むかで参加者:今井、長谷川、本多、堀口
 - ・2024-2025年度「下田会議」(第二例会共)
 - 6月25日(火)18:00～東陽町YMCAホールを予定。

(長谷川 記)

出席者:神保、伊丹、今井、長谷川、堀口、本多

東京YMCA ニュース

▼【参加者募集】～日本での学びを支援する～ 外国にルーツのある子どもたち(6/15、7/13)

外国にルーツを持つ子どもたちは、「言葉の壁」「文化の壁」「制度の壁」を抱えて日本で生活を送っています。日本語がわからないので、授業についていけない。遊びのルールがわからない。生活のルールが母国と違う。今回は、2回の講演を通して私たちの身近にいる外国にルーツのある子どもたちのために何が出来るかを一緒に学んでみませんか？

- 日 時:第1回 2024年6月15日(土) 13:30-16:00
- 第2回 2024年7月13日(土) 13:30-16:00

▼【野尻報告】 5/3～5/5 開荘ワークキャンプ実施

今年もゴールデンウィークに野尻開荘ワークキャンプを行い、学生・社会人・スタッフの総勢19名でワークを実施しました。雪害対策の雪囲いを外したり、キツツキハウスにしまっていた船類を湖岸に降ろしたりと、6月中旬の本開

荘に向けて準備を進めていきました。今年も多くの利用者を迎え、元気な歌声や笑い声が響く野尻キャンプになることを願っております。(本多 記)

4月会計報告・リングプル報告

1 月間収入・支出合計		期間 4/1～4/30
口座名	月間収入額	月間支出額
経常部	9,000円	16,544円
活動基金部	30,600円	56,544円

- 月次収支合計: 　　△16,944円
- 現預金残高(現在): 　410,011円
- (収支の主な内訳)
- ・経常収入: 例会参加費 9,000円
- ・活動基金収入: スマイル 20,600円、寄付10,000円
(能登への交通費福島分)
- ・経常支出: 例会食事代 10,544円、
講師謝礼 6,000円
- ・活動基金支出: DBC交流(能登半島ボランティア活動費) 40,000円(うち福島への交通費支給は寄付扱いとしました) (福島 記)

2 プルタブ4月預かり分

0.kg これからもよろしく収集運搬協力をお願い致します。(愛尽慕 記)

編集後記

5月1日～4日にかけて、DBC 3クラブ(神戸ポート、石巻広域、東京むかで)で輪島市の東陽中学校に災害ボランティアに行き参りました。(以下、敬称略) 神戸ポートからは、北島伸三(会長)、大野勉、大野智恵、山田滋己、奈良昭彦、石巻広域からは、川上直哉、清水弘一、日野竣、郷内宣子、李裕弦(学生)、我がむかでクラブからは、神保伊和雄(会長)と福島和州太郎、総勢12名で行って参りました。



【神戸ポート、石巻広域、東京むかでのワイズ勢ぞろい】

現地では、炊き出しで餅つき大会及びワイワイ喫茶を企画・実行し、一部別動隊(川上、李)で避難所運営のサ

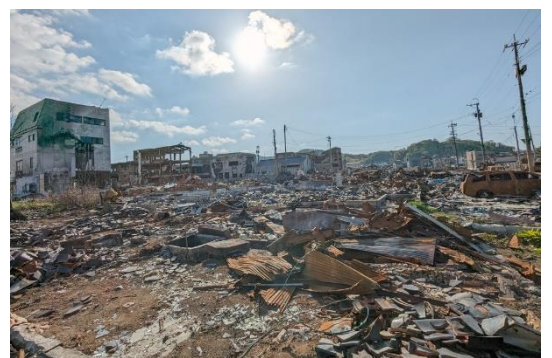
ポートとして、物資の管理・配布、トイレ掃除等を実施してきました。車中泊、又は家庭科室の調理台の隙間の通路に寝泊まりする宿泊環境でしたが、陸上自衛隊が東陽中学校の近くに野営しており、中部方面京都市駐屯地の第101補給大隊の装備で、大浴場のあるお風呂が利用できました。待合室やドライヤーまで完備されていて、避難者だけでなく、ボランティアや公務員の方々も無料で利用でき、一日の疲れを温かいお湯で流すことができ、本当に感謝です。【写真下=餅つき大会の様子】



私は日程の都合上、往復の移動を別個で動いており、片道8時間超、往復で

1,000km超の道のりを全て単独で運転しました。向かう途中、能登半島の付け根部分にあたる七尾市を通り過ぎたあたりから、道路はガタガタになり始め、輪島の東陽中学校に到着する寸前の道では、地震と同時に起こったものと思われる土砂災害の影響で、いくつもの道路が寸断されていました(町野の地域は、この道路寸断により、発災直後完全に孤立したそう)。何とか車一台が通れるだけのスペースが確保されていて、「この先行き止まり」の看板を尻目に進んでいくと、東陽中学校に辿り着きます。

ボランティアの合間に焼けてしまった輪島の朝市跡地も見てきましたが、言葉を失うような凄惨な光景が広がっていました。改めて犠牲者の皆様に哀悼の誠をささげると共に、今なお被災に苦しむ皆様が一日も早く、穏やかな日常を取り戻すことができるよう祈っております。【写真上=輪島の朝市跡地】



私たちは、ほんの小さな働きしかできないかもしれませんが、それでも無力ではありません。小さな活動が、無力ではない小さな微力の集まりによって、能登の人々が、ほんのひと時でも笑顔になってもらえた事が、私たちの救いです。被災地支援は、これで終わりではありません。継続的な活動となるよう、一人一人出来ることを続けていきたいと思います。(福島 記)